

## SWD-DA20 の活用(6)

### —Bulk Pet 伝送(6)—

#### 1. はじめに

前報(3)と(5)までは SWD-DA20 の Bulk Pet 伝送で外部クロック入力を行うと TASCAM Hi-Res Editor での再生やベルリンフィルデジタルコンサートの再生ができませんでした。今回、メーカーに問い合わせたところその日のうちに回答がきたので追試を行い、一応の解決をみましたので報告いたします。

#### 2. SWD-DA20 の試聴方法

メーカーとのやりとりをオーディオ資料室に掲載しています。

##### [SWD-DA20 の BulkPet に関する質疑応答](#)

その結果、SWD-DA20 の外部クロックと BYPASS 設定、SIC MODE の設定、TASCAM Hi-Res Editor の起動とドライバーの再指定の順序が問題であることが分り、下記のような順序でうまくいくことが確認できました。

①SWD-DA20 の外部クロックを接続し、BYPASS 設定にしておく。②SIC MODE の設定を Bulk Pet にする。③TASCAM Hi-Res Editor を起動するとデバイスが OFFLINE になったというメッセージが出るので、SIC ドライバーの再指定を行う。一度再生が可能になれば、BYPASS から SRC に替えても外部クロック入力さえ正しければ、問題ないようです。

一方、BPODCH (ベルリンフィルデジタルコンサートホール) で Bulk Pet にするには、TASCAM Hi-Res Editor のような SIC ドライバーの再指定を行う個所がありませんので戸惑いましたが、一度 SIC MODE の設定でアシンクロナスを選択して音が出るようにしてから、Bulk Pet にすると音が出るようになりました。

使用した音源は前報(3)と(5)と同様でエルネスト・アンセルメ指揮コヴェントガーデン王立歌劇場管弦楽団のロイヤルバレエガラの 11.2MHz DSD 音源とベルリンフィルデジタルコンサートホールです。

#### 3. SWD-DA20 の試聴結果

メーカー情報に基づいて改めて実施した実験結果をオーディオ資料室に掲載しています。

##### [BulkPetTest\(1\)](#)

BulkPetTest の結果について音質評価を要約すると次のようになります。なお、SRC を効かせると状況が複雑になりますので、BYPASS (SRC を効かせない) または

EXTSYNC（外部クロックでのリクロック）での比較とします。

#### 11.2MHz DSD 音源の場合

**Bulk Pet Mode4** とアイソクロナスの同条件での比較では、**Bulk Pet Mode4** の方が広がり感や楽器の質感が向上します。

**Bulk Pet Mode4** での外部クロック入力有り無しの比較では、外部クロック入力有りの方がわずかに音の焦点があってきます。

アイソクロナスでの外部クロック入力有り無しの比較では、外部クロック入力有りの方の音が緻密で滑らかです。アイソクロナスでの外部クロック入力無しでは音が粗く、**SWD-DA20** の潜在能力が発揮されていないようです。

#### ベルリンフィルデジタルコンサートホールの場合

**Bulk Pet Mode4** とアイソクロナスの同条件での比較では、**Bulk Pet Mode4** の方がベルリンフィル大ホールの響きが豊かに聴こえます。

**Bulk Pet Mode4** での外部クロック入力有り無しの比較では、外部クロック入力有りの方がわずかに音の焦点があってきます。

アイソクロナスでの外部クロック入力有り無しの比較では、外部クロック入力無しでは音が散漫で緻密さも後退します。

なお、ベルリンフィルデジタルコンサートホールでは、PC の SIC コントロールパネルでは 44.1KHz の表示になっていますが、**SWD-DA20** の表示は 384KHz になっていますので、この理由をメーカーに問い合わせています。ちなみに 11.2MHzDSD では双方とも 11.2MHz の表示です。

#### 4. まとめ

同条件で比較する限り、**Bulk Pet Mode4** はアイソクロナスに比べて音質向上の効果が認められました。また、外部クロック入力の効果はアイソクロナスの方で顕著でした。

**Bulk Pet** は新しい技術ですので、まだまだ不明の点や、再生系によって調整するところが多いかと思えます。活用方法のノウハウが蓄積されていくことを期待します。

以上